

第 265 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 3 月 11 日(火) 開催 会場: Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社AnchorZ 代表者 徳山 真旭 氏 (<https://anchorz.co.jp/>)

【住所】東京都台東区浅草橋 3-22-9 第一野村ビル 2 階【設立】2004 年 4 月【資本金】10,000 千円

【事業概要】 デジタル社会におけるセキュリティにとって最も重要な要素である本人認証技術の研究開発と関連製品の開発を行っています。既存の認証方式では解決できなかった全く新しい認証方式であるバックグラウンド認証®とその認証方法を基礎として生成される本人認証機能付き電子鍵 DZ Intelligent ID®を使った様々なサービスとの連携を実現する eKYC プラットフォームの DZ IAP®を中心として様々なプロダクトやサービスを開発・販売しています。
 <製品ラインアップ> アプリに認証機能を組み込む「バックグラウンド認証®SDK」をはじめとして、PC の情報漏洩対策ユーティリティの「DZ Pass」や様々な機器やサービス同士が手ぶらで本人認証ができるようになる開発キット「手ぶらでおまかせスマホ認証」等、その他にも不正なりすましを未然に防ぐ様々な製品を販売しています。
 <論文・特許> 既に IEEE/IJCB2023 に弊社の認証アルゴリズムが採録されており、日本・アメリカ・中国を中心に 42 件の海外特許を取得済みとなっています。

<今後の展開> バックグラウンド認証®を活用した PC の情報漏洩対策ユーティリティ「DZ Pass」をパートナー経由で拡販しながら、手ぶら認証のソリューションの展開とフィッシング防止対策が可能なアプリサービスを展開し、2028 年度中の上場を目指します。

【コメント】 同社は、『本人認証の負担と不安をなくす』というスローガンを掲げて、誰もが簡単に使える認証技術の開発を行っています。各自のスマホに搭載された様々なセンサーの情報を統合し、独自のユニークなプロフィールを生成して電子化します。単なる顔認証ではなく、世界初の『継続的』に機能する総合本人認証技術。使えば使うほど認証精度が向上し、消費電力が減り、長時間のデータ蓄積が不要となります。



2. 合同会社ソアリス 代表者 横山 理恵 氏 (<https://soaris-y.com/>)

【住所】神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目 7 番地 18 日総第 18 ビル 501 号室【設立】2021 年 9 月【資本金】3,000 千円

【事業概要】 中小企業の海外展開への貢献を目的とした英語コミュニケーション事業および知的財産管理事業を行っています。人口減少が続く中、海外への販路拡大を目指す企業様を「英語 x 知財」でサポートします。英語コミュニケーション事業では、英語研修、交渉および翻訳のサービスを提供しています。特に英語研修では、企業様の課題を丁寧にヒアリングし、「アジア英語」、「海外展示会対応の英語」、「交渉の英語」など売りに直結する英語研修をオリジナル教材を交えながら行っています。知的財産管理事業では、海外の知的財産管理人材の研修、海外知財戦略コンサルティング等を実施しています。独立行政法人工業所有権・研修館(INPIT)企業派遣専門家として、INPIT かながわでも活動中です。

【特色】 英語だけではなく、契約・知財だけではなく、両領域を横断的に跨ぐ事業を提供。

【今後の展開】

- ・英語による契約交渉の事業を強化します。海外展開に際し、自社でリソースを割くことが難しい中小企業の海外事業活動に資するべく、顧客の強みを引き出して相手方を説得できるようリードし、win-win の関係へと導きます。
- ・英語研修関連は、コンテンツを強化し、より幅広い潜在顧客にリーチします。同時にブランド力を高めていきます。
- ・知財関連は、ライセンスの発掘から契約交渉へと事業を発展させます。

【コメント】 同社はビジネス英語利用歴 20 年以上の経験に基づいた交渉・知的財産関連の英語コミュニケーションを得意としております。今回は、アジア圏で事業展開中・事業進出をお考えの中小企業様、知的財産戦略をより高めたい中小企業様からのお問い合わせ、ご紹介を希望しておりました。



3. 株式会社 mm ガード 代表者 鈴木 和清 氏 (<https://www.droneview.co.jp/>)

【住所】東京都中央区日本橋 3-2-14 新榎町ビル別館第 1・2F【設立】2011 年 8 月【資本金】24,100 千円

【事業概要】 ドローンと AI を組み合わせたソフトウェア・ソリューション「違いがわかる AI」Drone View”を開発・販売しています。太陽光パネル点検版は、太陽光発電所のパネルの異常を発見することができます。遭難者発見版は、山岳地帯での遭難者を発見することができます。北海道・新冠町では JR 北海道との共創で「日高ロボットテストフィールド」を運営しており、日本製ドローンの開発に貢献しています。今後は、工場の配管の間や屋根裏など「狭所」を飛行可能なドローンを活用した点検事業にも展開する予定です。株式会社 mm ガードは、“みなとみらい”から日本のインフラを守る AI を提供することを目標としています。

【コメント】 同社は甚大な災害をもたらした東日本大震災後に設立されました。ドローン市場で解決すべき重大な課題のうち、太陽光パネル点検と遭難者捜索については AI ソリューション製品が完成いたしました。ドローン市場は 2027 年度には 8000 億円規模にまで拡大すると想定されています。今回、それぞれの課題分野における販売代理店を募集されておりました。



【感想】 今回の発表会は開催直前までお申し込みが入ってきて、皆さんの関心度が高いと感じました。交流会では、盛んな情報交換がされていました。

どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。

もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にお申し出を頂きますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 266 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 令和 7 年 4 月 8 日(火) 13:30~15:00

■会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
 (株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
 (株)TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹